

須恵

2014
190号
AUGUST

平成26年8月5日発行

発行／須恵町議会 所在地／〒811-2193

須恵町大字須恵771番地

TEL／092(932)1154(議会事務局)

FAX／092(933)6579

なんば しょうと? 第13回 地域の特色

たんこう いれいさい
炭坑慰霊祭

須恵町の地域の特色や伝統行事等を紹介
します。そこで今回は、「炭坑慰霊祭」って
なんばしょうと？



炭坑慰霊祭の参加者とともに

毎年10月に、「志鉱会」と「志免立坑
槽を活かす住民の会」の共催で、志免鉱
業所殉職者慰霊祭が行われています。

志免鉱業所の歴史

明治22年、海軍が石炭採掘を開始し、
第一坑が開坑。翌、明治23年には海軍の
「新原採炭所」となります。明治39年
は、志免村に第五坑が開坑され、以降、
第八坑まで開坑されました。

年間60万トン強という全国でも有数の
出炭量を誇っていた志免鉱業所は、第二
次大戦後、日本国有鉄道へと移管され、
主な交通機関であった蒸気機関車の燃料
として、その役割を果たしてきました。
しかし、数々の歴史と文化を育んでき
た炭鉱は、石油燃料へと転換するエネル
ギー革命の変遷により、昭和39年、75年
におよぶ歴史に幕を閉じました。

次世代へつなぐ

それから50年の歳月が流れた今でも、
堅坑槽（国の重要文化財）や、ぼた山、
わずかな面影の炭鉱住宅に、その名残を
見ることができます。



ご冥福を祈って

昭和57年に、志鉱会（志免鉱業所の職
員OB会、約100名）の皆様のご努力
により、操業当時、不幸にして炭塵爆発
や落盤事故で殉職された方々の生前の功
績を讃えると共に、ご冥福を祈って慰霊
碑が建立されました。

それから今日まで、殉職者慰霊祭が継
続されています。しかし、志鉱会の方々
の高齢化により、年々参加者が少なく
なっているのが現状です。須恵町繁栄の一
翼を担った炭鉱の歴史を、今後も後世に
残していきたいと思えます。

編集後記

夏ばてを防ぐ

夏は草木が成長し、
万物が茂り、花を咲
かせるというエネル
ギッシュな季節。夏
の三カ月は蓄秀（ばんしゅ
う）と呼ばれ、気分を発散
させる季節だそうす。
夏ばてを防ぐにはどう
したらよいかを調べると、
『冷たいものばかり摂った
りせずしっかりと汗をかき
ましょう』とありました。
また、「体を冷ますには
ウリ類・葉野菜・大根・カ
ブなどの野菜、またスイ
カ・メロン・コナツ・マ
ンゴー・パイナップルなどの食
べ物が効果がある」とのこ
と。

私自身、すぐ冷房に頼り、
食べ物から体を冷やすとい
うことを忘れてしまってい
ました。熱中症にならない
よう、水分をとり、意識し
て体力作りを心がけたいと
思っています。

百田輝子

発行責任者

議長：三角 良人

広報特別委員会

委員長：今村 桂子
副委員長：合屋 伸好
委員：百田 輝子
委員：田ノ上 真

6月定例会 主な内容

中学校弁当給食実施へ 2▶

ここが聞きたい (一般質問) 6▶

なんばしょうと? (炭坑慰霊祭) 12▶